

宣言へと事態は深刻化を深め、各クラブに於かれましても長期休会など異常な事態となりました。緊急事態宣言もここに来て解除され、徐々に日常を取り戻しつつありますが、長期にわたる休会で各クラブ会長幹事様は最後までご苦勞が続いている事とお察し申し上げます。

また、新年度を迎えられます会長幹事様以下新役員委員長の方々には、PETS並びに地区協議会が相次いで変則開催となり、戸惑われておられる事と存じます。

小職といたしましても、5月中に予定しておりました、後期のクラブ訪問が全く出来ず、また6月13日に予定しておりました新旧合同会長幹事会も中止とさせていただきます、ほぼ開店休業状態となりました。世界大会(ハワイ)も中止となり、6月にクラブ訪問をとも考えましたが、各クラブも食事抜き縮小開催などの状況に加え、職務が山積されておられるのではとの判断と、小職の日程が組めない等の事情により、誠に残念ではございますがクラブ訪問は止む無く中止とさせていただきます。

前期に皆様のクラブを訪問させていただいた折には、RIの方針や地区の方針、とりわけ安間ガバナーのお考えをお伝えすることを中心にご挨拶申し上げます。また、併せて2019年4月の規定審議会において変更された標準クラブ定款並びに推奨クラブ細則、その他RIの決定事項についてもお話申し上げます。とりわけ重要な事は、日本のロータリーもいよいよ本当に変わらなければならなくなり、クラブの中長期的なあり方について、是非クラブ内でご検討いただきたいと言う事でございます。この作業が出来たクラブも出来なかったクラブもおありかと存じますが、必要な作業でございますので、次年度以降にも引き継がれ、RIの戦略と自クラブのあり方の整合性を図って頂きたいと心からお願い申し上げます。

後期の訪問では、やや僭越ではありますが、私のロータリー感と言いますか、クラブ運営のコツのようなものを皆さんと一緒に探って行きたいと考えておりました。例えば、会員増強や事業活動の進め方、クラブ内の教育やスキル向上についてなど幅広くお話出来ればと思っておりました。残念ながらそれは果たす事ができませんでしたが、また、機会があれば一緒に考えたく存じます。

皆様におかれましては、この様な事態となり、ご

本業においても深刻な事態となっておられる会員様もおられるかと存じます。心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く回復軌道に乗る事をお祈り申し上げます。

思うに、日本のロータリークラブとしては、今回の事は先の大戦以来の危機だと思えます。しかし、先人達が成し遂げた様に、必ずや復活の日が来ると私は信じております。ロータリーの精神を胸に、心を強く持って少しずつ歩みを始めて参りましょう。最後になりましたが、皆様とご家族、会社の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

2020年5月24日

#### 副会長 横山貞治

今日で2019-2020年度、最後の例会となりました。山口会長、馬場幹事一年間大変ご苦勞様でした。この一年間を振り返ってみますと、私は副会長として会長を補佐する立場でありながら、何も手助けすることもできず申し訳なく思います。ただ山口会長が素晴らしいクラブ運営をされて、様々な問題に対する調整能力やその実行力など、模範を示していただき私にとって大変勉強になりました。



クラブ管理・運営委員長としての役割です。プログラムについては影島委員長に担当していただき、また遠藤親睦・出席委員長を中心に例会の受付、前年度会長幹事慰労会、家族忘年会、ゴルフコンペなど、楽しく素晴らしい企画を立てて運営していただきました。どうもありがとうございます。

今年度を顧みますと、例年にはない大きな問題がありました。ひとつは、年初に2019年度規定審議会においてメイクアップに関する規定が改定されました。皆さんご存知のように「例会の定例日の前14日または後14日まで認めるという規定を、年度内までに変更する」ということになりました。例会への出席が原則ではありませんが、メイクアップしやすくなったことで、100%の出席を目指していただきたいと思えます。まだ今期の最終の集計は出ていませんが、出席率のアップにつながったのではないかと思いますし、今後新会員勧誘に有利に働くのではないのでしょうか。

もう一つは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月25日の香貫山大漁桜撫育活動を最後に、3ヶ月間計10回の例会を休会にせざるを得ませんでした。その間、たびたび役員会を開き、その都度ガバナー事務所